Nissenken

アパレル散歩道 ティータイム特別企画

大阪･関西万博 2025 訪問記 その2！

BY 清嶋 展弘

５月末日、「大阪・関西万博 2025」第２回目の見学に行きました。
大屋根リング内外の会場は広いものの、国内パビリオン、海外パビリオンがぎっしり並んでいます。今回も筆者が訪問したパビリオンの中からいくつかを紹介します。**（写真も筆者撮影）**

■電力館

「可能性のタマゴたち」をテーマに、エネルギーの可能性を紹介しています。足踏み発電など、体験コーナーがたくさんありました。

電力館外観

発電する窓ガラス

光と音楽の融合

■NTT パビリオン

「PARALLEL TRAVEL/時空を旅する」をテーマに、次世代空間技術を紹介しています。ここも体験型展示が楽しかったです。

パビリオン外観

スタッフのファン付
クーリングジャケット
（とても涼しいとコメントあり）

（雑感）万国博覧会と私

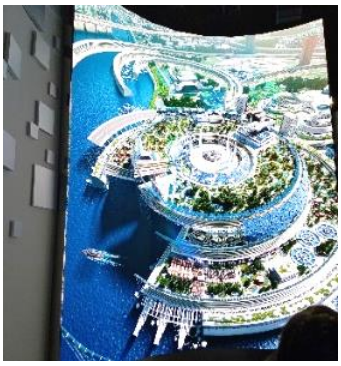
私が万国博覧会と出会ったのは 1970 年、大阪千里で開催された日本万国博覧会でした。
高度成長で社会が拡大する中、当時高校１年生の若輩の筆者は、ワクワク感を感じながらアメリカ館の「月の石」、ソビエト館の「宇宙船」を何時間も並んで見た記憶が今も残っています。この博覧会では、「人類の進歩と調和」をテーマに、未来技術として、広告サイン、動く歩道、モノレール、リニアモーターカー、電気自転車、電気自動車、テレビ電話、携帯電話、缶コーヒー、ファミレス、ファストフード店などが紹介されました。
時は移り、その 55 年後の今、再び大阪･関西万博が開催されています。55 年前と異なるのは、移動体通信や AI 技術の進歩はさることながら、地球環境の負荷などが大きな課題になっています。
今回の万博では、これからの技術の進歩が、人類や地球にどのように影響するのか、また、今も残る世界の美しい自然や歴史遺産をミニ世界旅行感覚で一見したいと思っています。

＞ 万博訪問記 その１はこちらから

■未来の都市

「Society5.0」をテーマに、経済と社会の課題を考える内容でした。

パビリオン外観


未来都市の展示

未来の貨物船
（未来の帆）

未来の乗り物

■カタール館

隈研吾氏による設計のパビリオン。「海」をテーマに、カタールの歴史と未来の展示がありました。
カタールはペルシャ湾に面し、サウジアラビアと接しています。首都はドーハ、人口は 260 万人。

パビリオン外観
（隈研吾氏設計）

展示の一部

ナツメヤシの葉の軸で
できた柱

■カナダ館

「再生」をテーマに、カナダ北部の春の訪れを表現した内容でした。入場者全員にバーチャルリアリティー機器を貸与し、実体験をさせて頂きました。

パビリオン外観

バーチャル実演の様子

■モザンビーク館

アフリカ西部にあり、国土は日本の約２倍の大きさで、マダガスカル海峡に面した国です。
美しい自然と伝統文化が紹介されていました。

パビリオン外観

伝統的な民族衣装の柄

モザンビークの位置

■その他 …　目に留まった楽しいもの

ドローンによる上空パフォーマンス(手前はフランス館)

ガンダム！　可動していますが膝をついています

アパレル散歩道 バックナンバーと索引はこちらからご覧になれます！

【発行】一般財団法人ニッセンケン品質評価センター 事業推進室 マーケティンググループ
E-mail：pr-contact@nissenken.or.jp　URL ：https://nissenken.or.jp
※当コラムの内容、テキスト等の無断転載・無断使用を固く禁じます